

事務連絡

令和5年10月4日

一般社団法人日本福祉用具供給協会

一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会 御中

厚生労働省老健局高齢者支援課
介護業務効率化・生産性向上推進室

福祉用具貸与事業所におけるケアプラン標準仕様の取扱い等について（依頼）

介護保険行政の円滑な実施につきましては、日頃から御尽力賜り厚く御礼申し上げます。

厚生労働省では、介護現場の生産性向上を一層推進するものとして国民健康保険中央会にて構築・運用している「ケアプランデータ連携システム」の利用促進の取組を進めているところです。貴協会におかれましては、利用促進に向けてこれまでもご協力いただきありがとうございます。改めて感謝申し上げます。

本システムをはじめ、ケアプランのデータ連携に必要なデータ形式等は、厚生労働省が発出した「ケアプラン標準仕様」に準じて出力された CSV ファイルとしています。一方で、居宅介護支援事業所から送付されるサービス利用票（提供票）には、福祉用具貸与事業所が報酬請求するのに必要な、TAIS コード又は福祉用具届出コード（以下、商品コードという）の情報が含まれないため、CSV データを取込んでも再度商品コードを入力しなければならず、非効率であるとの意見が寄せられています。

これは、ケアプラン標準仕様のサービス利用票（提供票）に商品コードを記載する項目がないことに起因するものであり、現場での活用のためにはケアプラン標準仕様の改訂が必要であると考えております。

目指すべき理想像としては、福祉用具専門相談員が作成する「福祉用具サービス計画書」、介護支援専門員が作成する「サービス利用票（提供票）」の双方で商品コードを含むデータをやり取りすることが出来るような方向性であり、今年度の調査研究事業により、ケアプラン標準仕様等の改訂が出来るよう、取組を開始したところです。このことにより、居宅介護支援事業所、福祉用具サービス事業所双方において、転記・計算し直しが不要となり、負担軽減のみならず、返戻の防止にも繋がるものと考えております。

既に本システムを利用開始した居宅介護支援事業所においては、商品コードを含めた提供票で双方やり取りするよう、福祉用具貸与事業所と調整した例や、福祉用具貸与事業所において提供票の CSV ファイルを介護ソフトに取り込まずに送受信の証跡として活用している例があるようです。

福祉用具貸与事業所とのデータ連携を行う際、ケアプラン標準仕様の改訂までの間は、居宅介護支援事業所とよくご相談いただくよう、貴協会会員事業所の皆様に情報提供をお願いいたします。

また、厚生労働省では、現場の状況を踏まえたケアプラン標準仕様の改訂を行いたいと考えております。つきましては、貴協会会員企業（福祉用具貸与事業所）向けに別記のとおりアンケート調査を実施いたしますので、会員の皆様への情報提供と回答勧奨にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

記

アンケート調査名：福祉用具貸与における提供票の管理状況調査

回答方法：WEB アンケート方式（インターネットからの回答）

回答 URL：https://www.mhlw.go.jp/form/pub/mhlw01/2023_yougu01

回答期限：令和5年10月20日（金）

【担当】 厚生労働省老健局高齢者支援課
介護業務効率化・生産性向上推進室
TEL:03-5253-1111（内線 3876）

【別添1】 アンケート調査票

福祉用具貸与における提供票の管理状況調査

ケアプランデータ連携システムの利用促進にあたり、福祉用具貸与における課題を把握したいと思います。各設問にお答えください。

SA：単一回答 MA：複数回答 FT：自由記述

○基本情報についてお聞かせください。

- Q1 サービス提供している都道府県名を選択してください。(SA)
- Q2 法人名を教えてください。(FT)
- Q3 介護保険事業所番号を教えてください。(FT)
- Q4 事業所名を教えてください。(FT)
- Q5 回答する担当者名を記入してください。(FT)
- Q6 回答者の役職をご回答ください。(SA)
- 経営層
 - 事業所の管理者
 - 福祉用具専門相談員
 - 事務職員
 - その他()
- Q7 担当者のメールアドレスを記入してください。(FT)
- Q8 担当者の電話番号を記入してください。(FT)
- Q9 契約利用者数をお答えください。(8/1時点)(FT)
- Q10 提供票のやり取りをしている居宅介護支援事業所数(介護給付)を記載ください。(8/1時点)(FT)
- Q11 提供票のやり取りをしている介護予防支援事業所数(予防給付)を記載ください。(8/1時点)(FT)
- Q12-1 提供票の管理に使用している介護ソフトをお聞かせください。(SA)
- 株式会社アール・シー・エス Rely(リライ)
 - アトラス情報サービス株式会社 介護エイド
 - 株式会社インフォ・テック 介五郎
 - 株式会社内田洋行 絆Core 高齢者介護システム
 - エヌ・デーソフトウェア株式会社 ほのぼのNEXT(ほのぼのシリーズ)
 - 岡谷システム株式会社 トリケアトプス
 - 株式会社カナミックネットワーク 介護ソフト・地域包括ケア(医療介護連携システム)のカナミッククラウドサービス
 - 株式会社協同測量社 ケアマネジメント支援システム、介護サービス支援システム
 - 株式会社ケアコネクトジャパン CAREKARTE
 - 株式会社コンダクト 介護保険システム Flowers NEXT
 - 株式会社五大オーエー ASP 介護保険システム
 - 株式会社 ソフトウェア・サービス 介護システム「楓」
 - 株式会社日本コンピュータコンサルタント 介舟ファミリー
 - 株式会社ハローシステム 楽にネット
 - 株式会社 日立システムズ 福祉の森
 - 富士通 Japan 株式会社 HOPE LifeMark-WINCARE
 - 富士通 Japan 株式会社 HOPE LifeMark-WINCARE Cloud
 - プロテック株式会社 SimWork 介護保険システム
 - みらい工房株式会社 ナレッジ・ケアマネージャ

- 株式会社レゾナ 総合介護支援システム i-MEDIC Plus
- 株式会社ワイズマン ワイズマン SP システム
- 株式会社インタートラスト まもる君クラウド
- 株式会社キャロツシステム ケアキャロツ
- 株式会社 熊本計算センター 「楽園」介護保険システム
- ダンソフトウェア株式会社 介護保険総合システム
- 株式会社テクノプロジェクト CareWORKS21
- 株式会社 東経システム 福祉見聞録
- 株式会社ビーシステム ファーストケア
- 株式会社フォーエヴァー ゆう！ケア
- 株式会社南日本情報処理センター 介護トータルシステム「寿」
- 株式会社エス・エム・エス カイポケ経営支援サービス
- 株式会社エースシステム smart れん太
- 自社開発ソフト
- その他 →Q12-2、Q12-3 へ

Q12-2 介護ソフトベンダー名をお答えください。(FT)

Q12-3 使用している介護ソフト名をお答えください。(FT)

Q13 居宅介護支援事業所に交付する福祉用具サービス計画書の様式について教えてください。(SA)

- ふくせん様式を使っている
- 自治体が指定する様式を使っている
- 法人・事業所独自の様式を使っている（ふくせん様式のカスタマイズを含む）
- その他（ ）

Q14 1月あたりの返戻・請求誤りの件数の概数を教えてください。(FT)

Q15 返戻・請求誤りの主な理由をお聞かせください。(MA)

- 実績提供時のミス、漏れ
- 給付管理上のミス、漏れ
- 請求前の情報提供不足
- その他（ ）

○国民健康保険中央会が運用する「ケアプランデータ連携システム」についてお聞かせください。

Q16-1 「ケアプランデータ連携システム」を知っていますか？(SA)

- 知っている →Q16-2 へ
- 知らない・聞いたことがない

Q16-2「ケアプランデータ連携システム」について、どの程度知っていますか？(SA)

- 名称を聞いたことがある程度
- 国民健康保険中央会のホームページで資料を確認した
- 各種説明会やセミナーで詳しい説明を聞いたことがある
- その他（ ）

Q17-1 「ケアプランデータ連携システム」を利用していますか？(SA)

- 利用申請済みで、既に提供票のデータ連携を実施している→Q17-2-1、Q17-2-2 へ
- 利用申請済みだが、まだ提供票のデータ連携を実施していない→Q17-2-1、Q17-2-2 へ
- 利用申請を予定している。→Q17-3、Q17-2-2 へ
- 利用申請の予定はない。→Q17-4、Q17-5 へ

Q17-2-1 ケアプランデータ連携システムを使用した感想やご要望をお聞かせください。(FT)

Q17-2-2 システムを利用する理由はなんですか？(MA)

- 法人全体で利用する方針であるため
- ケアマネジャーから要請があったため
- 事務経費の削減が期待できるため
- 提供票共有にかかる時間削減が期待できるため
- 従業者の心理的負担軽減のため
- その他()

Q17-2-3 提供票のデータ連携を実施している居宅介護支援事業所数をお聞かせください。(FT)

Q17-2-4 提供票のデータ連携を実施している利用者数をお聞かせください。(FT)

Q17-3 利用開始を予定している時期をお聞かせください。(SA)

- 令和5年10月頃
- 令和5年12月頃
- 令和6年4月頃
- 令和6年10月頃
- 未定

Q17-4 システムを利用しない理由はなんですか？(MA)

- 使用しているソフトがケアプラン標準仕様のCSV入出力機能を実装していない
- 居宅介護支援事業所が利用していない
- 効果が期待できない
- 法人(本部)の方針
- その他()

Q17-5 どのように期待できないのか、具体的にお聞かせください(FT)

Q18-1 ケアプランデータ連携システムについて説明するセミナーを希望しますか。(SA)

- とても受講したい→Q18-2へ
- 少し受講したい→Q18-2へ
- どちらともいえない
- あまり受講したくない
- 全く受講したくない

Q18-2 セミナーで希望するテーマをお聞かせください(MA)

- システム構築の背景
- 今後の展望
- データ連携のメリット
- システムの利用申請方法
- 事業所の業務フロー
- システムの操作方法
- その他()